

自動横水栓

..... EY102DC-13

施工説明書

- 施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について 各部の名称・寸法図

- 全自動システム… 赤外線センサーとマイコン制御により、吐水口の下に差し出された手を感知して自動吐水、手を遠ざけると自動止水します。
- 市販アルカリ乾電池使用 …… 乾電池は市販のアルカリ乾電池(単3形×2本)を使用しているので入手が容易です。
- 長寿命 …… 1日に100回の使用で、乾電池寿命は約2年間です。(乾電池寿命は、使い方(使用頻度)や周囲の温度によっては短くなったり長くなったりします。また、同梱の電池は動作確認用のため、動作期間を保証するものではありません。)

各部の名称

センサー感知窓
吐水口
取付ねじ
水抜プラグ：電磁弁の強制開放および水抜ができます。
流量調節栓：流量の調節ができます。
カバー
乾電池：回路や電磁弁を動かす電源です。市販のアルカリ乾電池(単3形×2本)を使用します。
駆動部(電磁弁)：回路からの指示により、湯水を流したり止めたりします。
センサーユニット：このシステムの頭脳、差し出された手を感知すると駆動部の電磁弁に湯水を出すよう指示します。

●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

寸法図

PJ1/2
50
182
14
30
35
41
M24X1
70
148
15°

施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ …… 「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)

🚫 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

🚫 「分解してはいけません!」

🚫 「水や液体をかけたり、浸けてはいけません!」

🚫 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません!」

🗣️ 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

警告

- 🚫 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。故障や感電の原因になります。
- 🚫 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。60℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。
- 🚫 製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。故障のおそれがあります。
- 🗣️ ストレーナの掃除をする際は、止水栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 直射日光の当たる場所には設置しないでください。誤作動の原因になります。

注意

- 🚫 凍結が予想される場所には、取付けないでください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🗣️ 凍結のおそれがある場合は、配管部などに保温材を巻くなどして凍結予防をしてください。部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🗣️ インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。誤作動の原因になります。
- 🗣️ 誤検知の原因になるため、下記の条件で施工してください。鏡面に近い光沢の排水口などが、センサー光軸(センサー感知窓垂直方向)と重ならないように設置してください。(センサーを鏡面のものに向けて使用しないでください)【ステンレスシンクの場合】
 - ・シンク面がセンサー感知窓と平行にならないようにしてください。(10°以上傾けてください)
 - ・シンク面をセンサー感知窓から250mm以上離してください。
 - ・No.4仕上げ以上のシンクに設置しないでください。【その他のシンクの場合】
 - ・シンク面をセンサー感知窓から170mm以上離してください。
- 🗣️ 常時湯気が発生している場所の上には設置しないでください。故障の原因になります。

センサー光軸
15°
センサー感知窓と平行な面から±10°以上傾いていること
センサー感知窓と平行な面

施工について 適切な使用条件

(水圧について)

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。

(給湯機について)

使用最高温度	60℃以下
--------	-------

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
●給湯に蒸気を使用しないでください。

(水質・用途について)

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用(屋内用)

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細

●本書(施工・取扱説明書「保証書付」)×1

カバー	本体
アルカリ乾電池(単3形×2本)	

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

施工について 施工手順

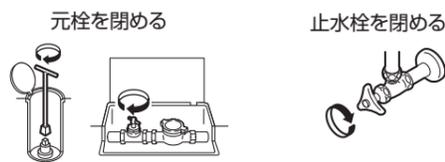
主な工具類

- プラスドライバー：カバーをはずす時に必要です。
- モンキーレンチなど：水栓のナットや袋ナットがまわせる工具。
- 手袋：ケガ防止のために着用してください。
- 使い古しのハブラシなど：取付穴周囲などの掃除ができるもの。
- ぞうきんなど：配管中の残り水を拭くのに使用します。
- タオルなど：ケガ防止や水栓保護のために使用します。

A 古い水栓の取りはずし ※新設の場合は **B** に進んでください。

1 元栓または止水栓を閉めて、止水します。

元栓の閉め方については漏水した場合の処置を参照ください。



2 既設の水栓を外します。



B 新しい水栓の取付け

3 配管内の掃除をします。

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除きます。

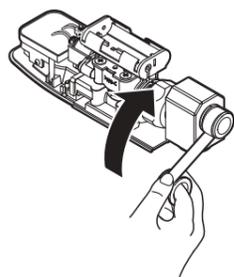


注意

配管内にゴミなどが混入すると漏水や水栓の故障の原因となります。特に新設の場合は、ゴミなどが混入しているため、通水して配管内のゴミを洗い流してください。

4 取付ねじにシールテープを巻きます。

ねじに向かって右向きに、5回程度少し引張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。



注意

シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

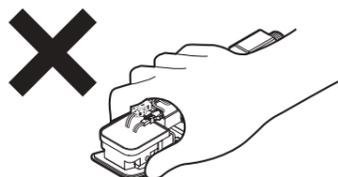
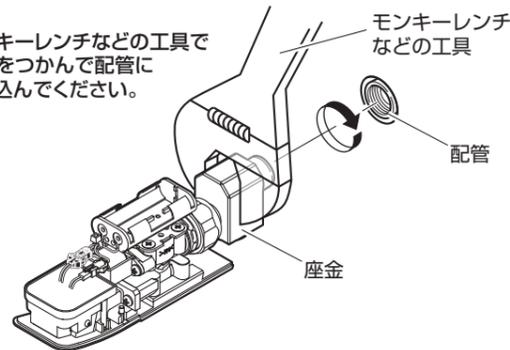
アドバイス

シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。シールテープ幅に合わせて巻付けてください。



5 本体を配管にねじ込みます。

モンキーレンチなどの工具で座金をつかんで配管にねじ込んでください。



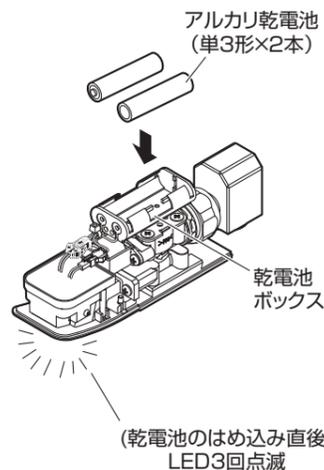
本体をつかんで配管にねじ込まないでください。破損・漏水の原因になります。

注意

- 本体をつかんで配管にねじ込まないでください。破損・漏水の原因になります。
- 本体は絶対に逆方向へゆるめないでください。漏水の原因になります。もしもゆるめてしまった場合は、手順4からやり直してください。
- センサー感知窓や本体内部(電源部やコード接続部)が水に濡れたり、汚れ、傷つかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。誤作動の原因になります。

6 乾電池を取付けます。

乾電池ボックスに、アルカリ乾電池をはめ込んでください。乾電池のはめ込み直後、作動準備のためLEDが3回点滅し、その後消灯します。

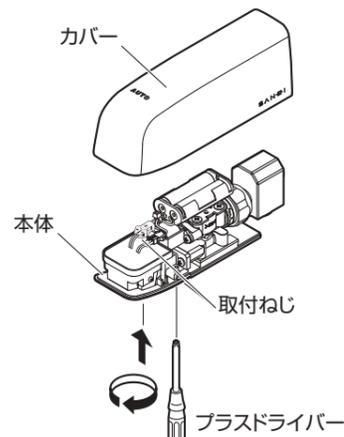


お願い

- センサーとシンクの間を物で置かないでください。
- 必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池の方向に注意してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 使い切った乾電池は、早めに出してください。
- 充電式の乾電池は使用しないでください。
- 乾電池に記載の注意事項をお守りください。

7 カバーを取付けます。

カバーを本体に取付けて、プラスドライバーで取付ねじ(2か所)を締付けてください。

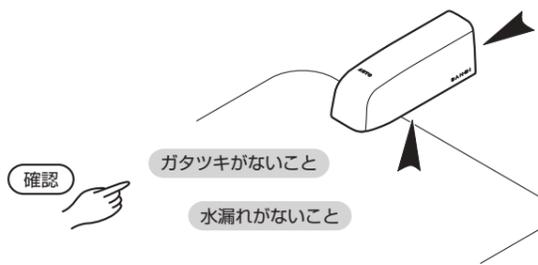


注意

緩みがないように確実に締めてください。取付ねじが確実に締付けられていないと、水が浸入して故障するおそれがあります。

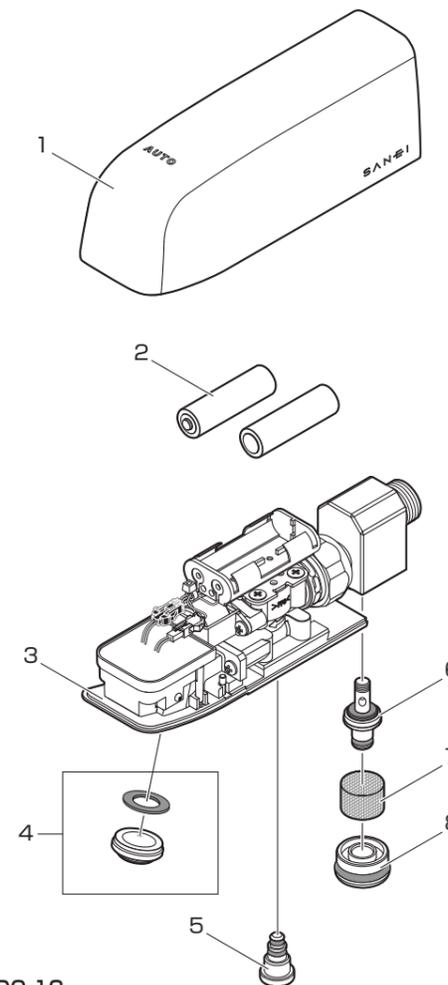
8 施工後、下記項目を点検してください。

- ・ 各部にガタツキがないことを確認する。
- ・ 止水栓を全開にして各部に水漏れがないことを確認する。



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。※部品として注文いただける単位のものではありません。



EY102DC-13

1. カバー
2. アルカリ電池
3. 自動水栓部
4. 泡沫器
5. 水抜プラグ
6. 流量調節弁
7. ストレーナ
8. キャップ

仕様

型式	EY102DC-13
電源	DC3V (単3形乾電池×2本)
電池寿命	100回/日として約2年(アルカリ乾電池使用)
給水圧力	最低水圧 0.05MPa(流動圧)
	最高水圧 0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	水道水
使用温度	0~60℃(凍結不可)
使用環境温度	0~50℃(屋内)
センサー感知距離	約10mm~90mm
探知時間(間隔)	約0.5秒
自動止水機能	物体を1分間連続感知した時、自動的に止水
給水部接続	PJ1/2

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

自動横水栓

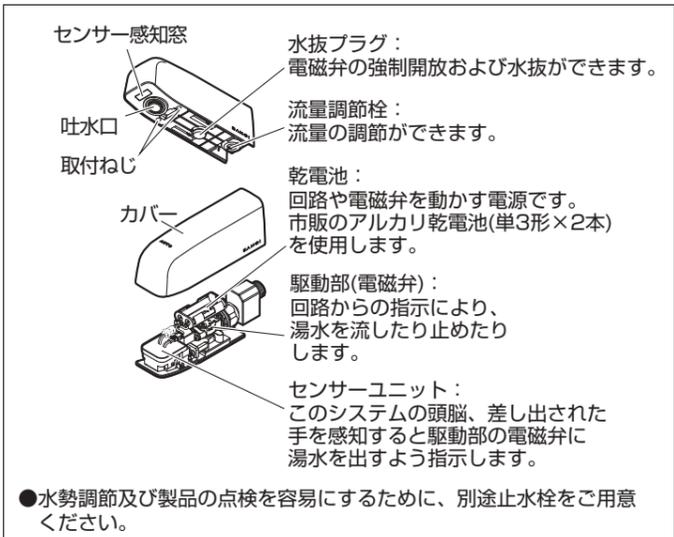
..... EY102DC-13

取扱説明書

- 施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しく下さい。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について 各部の名称・寸法図

- 全自動システム・・・赤外線センサーとマイコン制御により、吐水口の下に差し出された手を感知して自動吐水、手を遠ざけると自動止水します。
- 市販アルカリ乾電池使用・・・乾電池は市販のアルカリ乾電池(単3形×2本)を使用しているので入手が容易です。
- 長寿命・・・・・・1日に100回の使用で、乾電池寿命は約2年間です。(乾電池寿命は、使い方(使用頻度)や周囲の温度によっては短くなったり長くなったりします。また、同梱の電池は動作確認用のため、動作期間を保証するものではありません。)



ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告**.....「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意**.....「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
- 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
 - 「分解してはいけません!」
 - 「指示した場所に触れてはいけません!」
 - 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません!」
 - 「水や液体をかけた後、浸けたりはいけません!」
 - 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

警告

- 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。

警告

- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。
- 製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。故障のおそれがあります。
- 水栓の吐水温度は最高60℃まででお使いください。60℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため45℃以下での使用をおすすめします。
- 定期的に、水栓周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ストレーナの掃除をする際は、止水栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

- 直射日光の当る場所で使用しないでください。誤作動の原因になります。
- 使い始めの水がおう場合は、しばらく流してからお使いください。しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。
- (樹脂メッキ付き部品の場合)樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。
 - 鋭利なものを当てる
 - 衝撃を与える
 - 落とす
 (樹脂メッキ部品の例) カバー など

- 洗面器、シンクの中に障害物を置かないでください。誤作動の原因となります。特に、金属製のもの(コップ、スプーン、皿、ボウルなど)を置いた場合は、感知距離範囲外であっても誤作動を引き起こすおそれがありますので、ご注意ください。
- 使用するときは、吐水口をふさがないでください。
- 水栓に重いものを下げたりしないでください。摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。
- 凍結のおそれがある場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
- 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。

ご使用について 吐水・止水・流量調整・水抜き

吐水・止水	
1 感知	自動水栓部内のセンサーが吐水口下の手を約0.5秒で感知します。
2 吐水	手を感知すると回路から感知信号が駆動部へ送られ電磁弁が開き、自動吐水します。
3 止水	感知しなくなって約1秒で自動止水します。
自動止水機能	
吐水	●手や物体を1分間連続感知すると自動的に止水します。
止水	●1分間連続吐水後の止水状態の時、手や物がセンサー検知範囲内であっても、止水時と同じ位置のままでは吐水しません。再度吐水させる場合は、手や物をセンサー検知範囲外に動かしてから、改めてセンサー検知範囲内に動かしてください。

流量調節

流量調節栓を下から見た図

流量増 ← 流量減

流量調節栓

本体側 壁側

マイナスドライバー

水抜き

- 水抜プラグを開けるとセンサーに依存せず強制的に吐水し続けます。故障ではありません。
- 元栓、止水栓を閉めて水抜プラグを外すことで水栓内の水抜きが出来ます。
- 水抜プラグを閉める際は、元栓または止水栓を閉め、必ず水抜プラグを本体から完全に取りはずしてから取付け直してください。

ご使用について 電池の取替え

乾電池が消耗するとセンサー感知窓のLEDが点滅します。

- 元栓または止水栓を閉めて、止水します。
 - 元栓を閉める
 - 止水栓を閉める
- カバーをはずし、古い電池を取りはずします。
 - カバー
 - 古い乾電池(単3形×2本)
 - 乾電池ボックス
 - 取付ねじ
 - プラスドライバー

注意

古い乾電池を廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属性のものと混ぜると漏液・発熱・破裂・発火のおそれがあります。

- 古い乾電池を取りはずし、十分な時間(30秒程度)をおいてからアルカリ乾電池を乾電池ボックスに、はめ込んでください。乾電池のはめ込み直後、作動準備のためLEDが3回点滅し、その後消灯します。

新しいアルカリ乾電池(単3形×2本)

乾電池ボックス

(乾電池のはめ込み直後)LED3回点滅

お願い

- 必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池の方向に注意してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 使い切った乾電池は、早めに取り出してください。
- 充電式の乾電池は使用しないでください。
- 乾電池に記載の注意事項をお守りください。

注意

- 洗面器に障害物を置いたままで、乾電池を入れしないでください。
- 乾電池ボックスの電池接続端子をショート(短絡)させないでください。
- 電池挿入後、LED点灯中はセンサー感知窓正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。
- センサー感知窓を指などでふさいだ状態で乾電池を入れしないでください。誤作動の原因になります。
- 乾電池寿命は、使い方(使用頻度)や周囲の温度によっては、短くなったり長くなったりします。
- 同梱の電池は動作確認用のため、動作期間を保証するものではありません。
- 電池をはめなおす場合は、十分な時間(30秒程度)を置いたあとにはめなおしてください。

- カバーを取付け、LEDが消灯していることを確認してください。
- 元栓または止水栓を開いて点検を行います。各部にガタツキがないか必ず確認してください。ガタツキの確認後、元栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめてからやり直してください。

ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水抜プラグを開けて、水栓より少量の水を出してください。
- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 室内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

- 水抜プラグを閉める際は、元栓または止水栓を閉め、必ず水抜プラグを本体から完全に取りはずしてから取付け直してください。

窓を閉めるなど

水抜プラグ

少量の水を出すなど

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

- 製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
 - 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

注意

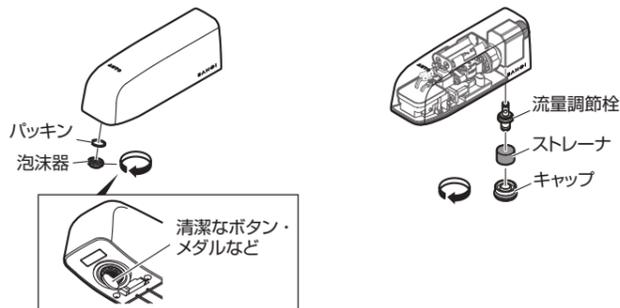
- 中性洗剤以外は使用しないでください。
- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
 - ・酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
 - ・特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ・ベンジン・シンナー・ラッカー
 - ・アルコールなどの溶剤や油類
 - ・クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ・ナイロンたわし・メラミンフォームなど
 製品の割れや変色変質の原因となります。
- 洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。製品の割れや変色変質の原因となります。

すぐ拭く

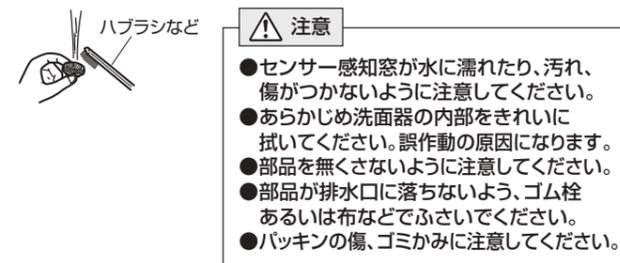
日頃のお手入れ 吐水口・ストレーナの掃除

吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。（近所で水道工事があったり、長期間使用し水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。）

- 元栓または止水栓を閉めて、止水します。
- 吐水口の泡沫器・ストレーナをはずします。



- ハブラシなどで泡沫器・ストレーナを掃除します。



再使用時

泡沫器・ストレーナが確実に閉まっているか確認してください。

日頃のお手入れ センサー感知窓の掃除

- 元栓または止水栓を閉めて、止水します。
- 水またはぬるま湯に浸した綿布や綿棒でセンサー感知窓の汚れを拭き取ります。

汚れがひどい場合は、食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。



注意

拭き取り時にセンサー感知窓に傷をつけないでください。

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）

定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」を参照してください。

こんなときは 故障？ その前に

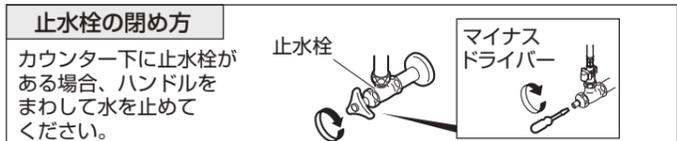
修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

吐水しない		[A]	流量調節栓を開けてください。
◇ 流量調節栓は開いていますか。	→ [A]	[B]	電池を入れてください。
◇ 電池が入っていますか。	→ [B]	[C]	止水栓を十分に開いてください。
◇ 止水栓は開いていますか。	→ [C]	[D]	電池切れです。電池を交換してください。
◇ LEDが点滅していませんか。→ [D] [H] [K]		[E]	復旧するまで待機してください。
◇ 断水中ではありませんか。	→ [E]	[F]	吐水口・ストレーナの掃除をしてください。
◇ ストレーナパッキン・吐水口のゴミづまりはありませんか。	→ [F]	[G]	センサー部の水滴や汚れを柔らかい布で拭き取ってください。
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。	→ [G]	[H]	センサー感知エリア内の障害物を移動してください。
◇ センサーの感知エリア内に障害物がありますか。	→ [H]	[I]	水抜プラグを時計回りに閉めてください。（参照：ご使用について 水抜き）
◇ 直射日光が入っていませんか。	→ [K]	[J]	反射物を移動してください。
赤色LEDが点滅している		[K]	直射日光が入らないようにしてください。
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。	→ [G]	[L]	誤作動の原因となる機器を取り除いてください。
◇ センサーの感知エリア内に障害物がありますか。	→ [H]		
◇ 直射日光が入っていませんか。	→ [K]		
水が止まらない			
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。	→ [G]		
◇ センサーの感知エリア内に障害物がありますか。	→ [H]		
◇ 水抜プラグが開いていませんか。	→ [I]		
流量が少ない			
◇ 流量調節栓は十分に開いていますか。	→ [A]		
◇ 止水栓は十分に開いていますか。	→ [C]		
◇ ストレーナパッキン・吐水口のゴミづまりはありませんか。	→ [F]		
水が出たり止まったりを繰り返す（勝手に出る）			
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。	→ [G]		
◇ センサーの先に留め水や鏡の様な反射物がありますか。	→ [J]		
◇ 直射日光が入っていませんか。	→ [K]		
◇ インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。	→ [L]		

上記の点検を実施されても不具合がなくなる場合は、お手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。



元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。

※一部の地域では左まわしの場合があります。

※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス：

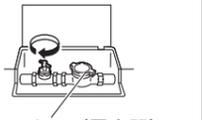
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式



止水栓キー

●ハンドル式

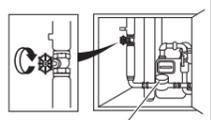


水道メーター（量水器）

■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。

お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



水道メーター（量水器）

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換

買替え
ご検討

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

消耗部品とは、使われてなくなっていく部品のことです。

消耗部品の例：アルカリ乾電池など

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例：電磁弁・電装部品 など

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。

部品の詳細については「本製品の構造」を参照してください。

〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

●修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社

●連絡していただきたい内容：

- 住所、氏名、電話番号
- 品番、品名
- お買上げ(お取付け)年月日
- 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
- 訪問希望日



●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」

診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」

修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。ご不明な場合は当社までお問い合わせください。

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください。記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)
	本体	2年間
お買上げ日(お取付け日)	年 月 日	
お客様	お名前	見 本 様
	ご住所	
	電話	()
販売店 工事店	店名	住所
	電話	()

＜無料修理規定＞

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の詰りなど異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
 - ★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:00 (土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd